



アスリートのコトバ



ラグビー元日本代表
静岡ブルーレヴズ CRO

ごろうまる あゆむ
五郎丸 歩 さん

「自分の長所を伸ばそう」

磐田市に本拠地を構えるヤマハ発動機ジュビロ（現静岡ブルーレヴズ）の中心選手だった、ラグビー元日本代表の五郎丸歩さん。キック前のルーティーンであるポーズは、2015年のラグビーワールドカップで話題となりました。

今回は、磐田東高校の生徒会が企画した講演会「夢を叶える力」の講師としてお話しした際に語った、五郎丸さんの大切にしているコトバです。

生徒からの「大事な場面で練習どおりの結果を出すためにはどうしたら良いか」との質問に『『自分を知る』『準備をする』『場数を踏む』の3つが大事』と自身の経験を踏まえて話し、「自分の苦手なことを頑張るよりも、長所を伸ばした方が自分も楽しいし、周りもハッピーになる」と生徒たちにエールを送りました。

話を聞いた2年の山下詩織さんは「自分の長所を伸ばしていくという考え方は新鮮に感じました」と話してくれました。世界の舞台で活躍した五郎丸さんのコトバは、生徒たちのこれからの人生にきっと役立つことと思います。

「浜名湖花博2024」が「人・自然・テクノロジーの架け橋」をテーマに、はままつフラワープーク、浜名湖ガーデンパークで開かれています。磐田市からも、さまざまな方が美しく可憐な花や癒しのガーデニングを出展し、彩りの空間を作ってくれています。本市は春を迎えると、豊岡梅園の梅から始まり、市内各所の桜やつつじ公園のツツジ、熊野の長藤、そして「中遠オープンガーデン」にご協力くださる皆さまのご自宅などにおいて、色とりどりの花や木々を楽しむことができます。

子どもたちに未来の理想とする社会や都市を絵で描いてもらおうと、多くが花や緑であふれています。私も、デジタル化が進む社会で、人の温かく潤いのある営みには、清々しさや癒しを与えてくれます。

「自然が必要だと感じています。公共施設や公園だけでなく、皆さまのご自宅や事業所、神社仏閣にももっともっと花や緑を増やしていきたいと考えています。」

磐田市出身のはままつフラワープーク塚本こなみ園長に「子どもたちに授業をするならどんなことを教えますか？」と質問したところ、「学校の中に自分の樹を持つといい。悩んだり迷ったりしたら、その樹に触れて感じる」とおっしゃっていました。私も子どもの頃、好きな樹が学校の中にあつたのを思い出しました。「浜名湖花博2024」をきっかけにして、皆さまにも自然との関わり大切さを感じていただき、身近にたくさん花や緑があふれる磐田市を一緒に築いていけたらと思います。



大クスノの下から

第36回

「花や緑があふれるまち」

市長 草地博昭